-ジ http://www.kaitakusya.or.jp

生

発 行 所

公益社団法人**全国開拓振興協会**

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-2-10 TEL 03-6268-9995

FAX 03-6268-9996

全日本開拓者連盟・全開連・全国開拓振興協会共同編集

April 22~23. 2023

Agriculture Ministers' Meeting

の交渉で、23年度期中の

大手・中堅乳業者15社と

中値上げを交渉していく き続き、乳製品向けの期

している。

ホクレンは4月20日、

- (2面) (3面)
- ・度確認を (7面) いま

各国の農業大臣と国際機関代表者(中央に野村農相)

することで合意したこと それぞれ10円/昔値上げ 外)の3用途について、 の他向け(乳製品用途以 け、はっ酵乳等向け、そ 8月1日より、飲用等向

クリーム向け等の乳製品

早期妥結を選んだ。 円/昔値上げだったが、 要請は6月1日からの15 上げで合意した。当初の 8月1日から10円/計値

これまでにあまりなか

向けでも10円/昔値上げ

等向け、チーズ向け、生

月から脱脂粉乳・バター き値上げされ、 今年の4

|同3用途向けで10円/ これまで、昨年11月か

を公表した。

しかし、北海道の生乳

されてきた。

論された。

等、世界の農業を取り巻

く共通の課題について議

大臣声明とともに、G7

各国が取り組むべき行動

写真提供:農水省

全国

で飲用等乳価

10

闩

产

げ

乳製品等向けについ

を取りまとめたG7農業

また、本会合での議論

崎」の名前を冠した文書 が初めてで、開催地の「宮

参加し、食料安全保障や

共通認識が得られた。

農業の持続可能性の確保

本、アメリカ、カナダ、 と国際機関の代表者等が リア、EU)の農業大臣 イギリス、ドイツ、イタ て、G7メンバー国(日 係閣僚会議の1つとし 宮崎市で開催された。 が4月22~23日、宮崎県 G7広島サミットの関 G7宮崎農業大臣会合 産 旌 向 上と持続 ③あらゆる形のイノベー 持続可能な形で活用する り ション(技術革新)によ こと、②農業の生産性向 向上させることについて 上と持続可能性の両立、 Z 食料政策の方向性とし 会合では、今後の農業 農業の持続可能性を ①自国の生産資源を 可 能性 両立 りまとめられたのは今回 かった。しかし、G7の が示された一方、各国の は、 ョン」が採択された。 を要約した「宮崎アクシ 農相会合で行動計画が取 的な数値目標は示されな 合意を優先したため具体 一で共通認識 大きな理念や方向性 「宮崎アクション」で

【宮崎アクション(抜粋)】 が形となった。 ▽我々G7農業大臣

より生産力が高く、 営やアグリツーリズムと ための持続可能な森林経 ▽木材やその他産品の

地域・世界の食料システ を円滑化しつつ、地元・ を持続的に活用し、 強じんで持続可能な農業 ムを強化する途を追求 的に取り組んでいく。 際社会の一員として積極 るために、宮崎で議論し た以下の点を踏まえ、国 ・食料システムを達成す ▽既存の国内農業資源 貿易 及させる。 収入の多様化の促進、 特に若者や女性、

能な農業慣行の促進によ 農業・食料システム を促進する。

2022年度用途別販売実績

の持続可能性を向上させ

進する環境を整える。

て農村の活性化を支援。

給連鎖)を多様化する。 ーションの実施や持続可 し、サプライチェーン(供 ▽あらゆる形のイノベ 訓練、普及サービス、知な発言力のない人々への 資金への平等なアクセス の技術や慣行を拡大・普 タル化を含む新規・既存 識共有及び教育、並びに 十分

▽政府、民間セクター、

農業・食料システムへの 関係者間連携を強化し、 農業者並びに全ての利害

共インフラの改善を通じ るとともに、地元のニー いった、農業に付随する ズに応じた、更なるデジ ▽研究・開発を促進す 公

民間セクターの投資を促

チーズ向け乳量が唯

ŋ

が179万6622%

(同3・2%減) だった

(表参照)。

一方、チーズ向けは44

た。脱脂粉乳・バター等

の指定生乳生産者団体 は4月1日、22年3月分 (指定団体)の用途別販 中央酪農会議(中酪) (生産量)

005^トン 度累計の生乳総受託乳量 売実績を公表した。22年 (前年度比2・ は707万8

用 乳量(t) 前年比(%) 途 飲用牛乳等 3, 095, 837 97.0 脱脂粉乳・バター等 1, 796, 622 96.8 液状乳製品 99.7 1, 294, 460 448, 386 チーズ 103.0 はっ酵乳等 442, 700 96.6 合 計 7, 078, 005 97.8 (中酪の資料を基に作成)

地区49万3

1・7%減

)など、全て 1235 (同

現在、チーズ向けにシフ

・バターが余剰している

現在チーズ向けは、用

りの減産と 2%減)と 増産している 道が404万311½ 供給過剰となっていた。 (同2・3) 昨年度まで 地域別でみると、北海 なった。 %減)、東北 たが、すでに で3年連続で なり、4年振 増加 している。 なった。4年連続で増加 ない数量だが、脱脂粉乳 %増)で、唯一の増加と 万8386~(同3・0 途別でみると2番目に少

837%(同3・0%減) みると、飲用 (滅)だった。 力1144% かったのは九 **産だった。減** が309万5 トされてきている。

州地区で57 少幅が大き の地区が減る

同4・7%

ランスにも良い影響を与 工場が増えれば、需給バ る。また、良質なチーズ の生乳を回すことができ まってくれば、より多く チーズの需要がより高

牛乳等向け

用途別でな

で2年連続

にわたる。 の減少となっ •••• えるだろう。

様々な分野

いので、個別にワーキン 必要。▽価格転嫁を進め 市場で決まり、生産コス グチームを作って議論が トを反映したものではな ▽牛肉・豚肉の価格は

料費について、燃油サー など、消費者の負担を軽 チャージ的な仕組みも検 減する対策が必要。▽飼 る場合、クーポンの配布

トを反映させることは昔 が出てきた。 この他にも様々な意見 畜産物価格に生産コス

とはっ酵乳等向け乳価を ても交渉継続 30日までに、飲用等向け 関東生乳販連では3月 抑える政策とともに、 なる。小売価格の上昇を い る。 費者の理解を得ることも に対しての対策も急務と 牛乳の小売価格上昇 乳価値上げに伴 け大変で、 らない産業であることを らう努力を続けなければ 消費者などにわかっても しているか、なくてはな て日本の国にいかに貢献 畜産 ・ 酪農業がどれだ 地域に、そし

に 第 向 1 コスト !向けた環境整備推進会議?1回畜産・酪農の適正な価格形成 価格転嫁する仕組み を

備推進会議」を開催した。 価格形成に向けた環境整 食品事業者、消費者等、 給するために、生産者、 将来にわたり安定的に供 一回畜産・酪農の適正な この会議は、畜産物を 農水省は4月28日、第 もの。 下で生産コスト等を価格 団体、食品事業者、 の環境整備を図るための に反映しやすくするため 国民各層の理解と支援の 者団体、学識経験者等、 参集した委員は、 消費 なトラブル 分析すべき。 けた仕組み 今回の理解

成では価格の がある。 係 見が出てき ▽単純なb 初回では次 ①消費者 濃 た。 次のような意

担い手の減少 値上げがあっ 昨年以降、 頃から取り組むべき。▽ 知らない情報も伝える。 出の実態など 分を輸入し 〉食育は重要 幅広い品目で ったが、大き 要で、小学生 ど、消費者が 少、消費や輸 ている現状や 厚飼料の大部 の反映に限界 広報・理解醸 の理解醸成関 討すべき。

作り関係 価格形成に向 餓成に向けて はなかった。 より良いプランの構築が 今、まさにやらなければ からの懸案であったが、 ならない。実現に向けた

〈今月の紙面〉

・「食料・農業 知っておきたい話」-121-増野開拓とまし野ワイナリー 浜松一長谷川さん開拓手記まとめる ・通路部分にオオムギ間作で害虫抑制 (5面)

畜産物需給見通し

生産コスト高騰を補うほ

意しているが、乳製品向

乳価に反映される制度の

②適正な

ていない。生産コストが

経営になるまでには至っ の経営危機を脱して安定 が、まだ生産コスト高騰 った2桁の値上げである

早急な構築が求められ

けに関しても交渉を継続

より10円/き値上げに合

どには至っていない。

は約2割のため、プール 取扱量のうち飲用等向け

県でも飲用向け、

はつ酵

北海道に先立ち、都府

乳価では2円程度の上昇

乳等向けなどで8月1日

に留まる。飼料費などの

竹十酢粕で飼料置き換え みどりのチェックシート

消費者の遺伝子組み換 2018年3月末に、

のに、そのような表示を 世界的に認められている

認めるとGMが安全でな

入率、対象品目ともに極 ているEUに比べて、混 品にGM表示を義務付け

いかのように消費者に誤

めて緩い。

「遺伝子組み換えでない」

専門家2人から聞いてい 筆者は日本のGM研究の

畜産物は除外とされてい

る。これは、0・9%以

伝子組み換え飼料による

「GM食品は安全だと

上の混入がある全ての食

を認めていることだ」と

くの加工食品、また、遺

・醤油をはじめとする多 DNAが残存しない)油 工度の高い(=組み換え

に近いものに限られ、加

工度の低い、生(ナマ)

として、GM食品の表示

認させる誤認表示だから

これに対する厳格化と

(2)

れる消費者の選

どう対処するか~

知っておきたい話

第 121 回

この4月から、酪農・ いた。 東京大学教授

については、重量で上位

る表示義務は、①混入率

鈴木宣弘氏

成分について5%以上の 3位、重量比5%以上の

混入に対して表示義務を

し、②対象品目は、加

る。日本の消費者の選ぶ から』としてできなくな の表示さえ、厳格でない 伝子組み換えでない」表 畜産の飼料も含めて、「遺 農家、消費者はどうした た。『ゲノム編集表示は 示が実質できなくなっ 権利が失われていく今、 最初からなしで、 無添加 問題はnon―GM表示 る。すなわち「日本のG えでない」(non-G M食品に対する義務表示 いるのは「遺伝子組み換 は緩いから、まあよい。 米国からの要請)という任意表示であ 特に米国が問題視して

なのか、筆者も注目して 行するような決定が可能 から実施されている。 ら、米国からの要請に逆 表示を認めない方向の圧 庁から示され、この4月 化を検討するとの消費者 いた中で、GM表示厳格 力が強まると懸念されて 厅の発表を聞いたときか 米国からは日本にGM 説していた。 がNHKニュースでも解 やめるべきだ。続けるな という主張である。 交渉でも大きな問題にな いう科学的証拠を示せ」 っていたことは、筆者ら における日米間の2国間 この主張がTPP交渉 ばGMが安全でないと

図せざる混入」であれば、

任意表示についてだけ

で、現在は5%未満の「意

まったくそのままなので

て驚いたのは、①、②は して決定された内容を見

ある。厳格化されたのは、

遺伝子組み換えでない

(non—GM)という

GM表示義務の対象 率も緩いまま、no 品目は少なく、混入 「不検出」に厳格化 - GM表示だけ

検出」(実質的に0%)

と表示できたのを、「不

遺伝子組み換えでない

の場合のみにしか表示で

きないと、そこだけ厳格

日本のGM食品に関す

ても同様に適用される。

化したのである。これは、

酪農・畜産の飼料につい

機が迫っている。

この事業は、22年度の

ることと、自家配合飼料

生産量の50

アジアは

ロコシを自ら調達してい 22年度に自家配用トウモ

てきた農家にも、経営危

GM非表示制度になる

大豆を使っていれば、G

くて、消費者への効果的

な表示は難しい。そこで、

活協同組合連合会(以下)

生活クラブ事業連合生

長三村誠一氏などと、生

活クラブ役職員、開拓三

生活クラブ)は4月17日

団体職員ら合計11名。農

水省からは畜産局企画課

Mでないから、今後も「遺

る可能性がある。 削がれ、小売店の店頭か 組み換えでない)」とい 欄には、「大豆(遺伝子 表示も含めて、一掃され ら「遺伝子組み換えでな ンセンティブ(動機)が の分別管理の努力へのイ きたGMとnon-GM 象食品が非常に多い中 った表示が多いが、国産 や食肉の飼料についての い」表示の食品は、牛乳 食品を提供しようとして み換えでない」と表示し 求し、それを「遺伝子組 GMの原材料や飼料を追 て消費者にnon―GM 例えば、豆腐の原材料 この厳格化案が適用さ れば、表示義務の非対 可能な限りnon— 分別管理された大豆を使 組み換えでない」と表示 表示できそうに思うが、 が、これではわかりづら 表示は可能としている ものが含まれる可能性が 用していますが、GMの 材料の混入を防ぐために できなくなる。「GM原 後は、これらは「遺伝子 製品は「不検出」だった 析センターの分析では、 豆も扱っているので、微 伝子組み換えでない」と あります」といった任意 が、15製品に〇・01~0 大豆製品26製品のうち11 量混入の可能性は拭えな 流通業者の多くは輸入大 17%の混入があり、今 遺伝子組み換えでない」 い。実際、農民連食品分 られてしまう。 り、わからないから、G 続 く) るを得ない状況に追いや ばかりの中から、消費者 GM表示義務の混入率は 象を広げないで、かつ、 M食品でも何でも買わざ 大きく狭まることにな 消費者の商品選択の幅は は何を選べばよいのか。 からなくなり、GM食品 も含めて、non-GM ・乳製品、食肉、卵など 端に厳格化したら、牛乳 non-GM表示だけ極 緩いままで、このような う可能性がある。 から、表示をやめてしま 多くの業者が違反の懸念 に努力している食品が GM表示義務食品の対

単味トウモロ 低コスト配合飼料自家製造推進緊急対策 コシに1200円 ν^ト

ね5%以上のもの)で、 混合(トウモロコシが概 単体飼料、③魚粉等2種

定方式など) の差額補て

を確立する。

たい」と述べた。

入地域となる見通し。

58%を占め、最大の純輸

を持って自家配合を行っ られてきたが、単味など 対しては様々な対策が取 なる見込み。 を使っての飼料設計技術 主体は、主に全国組織と が実施される。事業実施 製造推進緊急対策事業_ LIC)の23年度事業で、 「低コスト配合飼料自家 これまで、配合飼料に 農畜産業振興機構(A 年度も自家配合飼料を製 を用いて自家配合飼料を 円/シ(単味トウモロコ 支援金を交付する。今回 製造し、利用・販売した 飼料コスト低減を図るた の支援金単価は1200 畜産農家等に対して、23 め、単味等トウモロコシ シに限る) 造していることを条件に 本事業の対象条件は、

> 製造設備を有すること していることでも可)。 モロコシは、①丸粒、 を有する者に製造を委託 (自家配合飼料製造設備 また、対象となるトウ 2 モロコシだけの数量とす A 参加申込兼支援金交付 コシは、今回対象外とな る。国産の子実トウモロ っている。 ③は魚粉等を除いたトウ 申請に必要な書類は、

32年における世界の食料需給見通

率となる見る

%上昇する

・6 錯なの

ルでも10

見通し」を公表した。 3月3日、「2032年 ロナウイルス感染症の世 における世界の食料需給 20年に発生した新型コ 農林水産政策研究所は 界的流行に伴う、世界経 行っている。比較する基 準年は19~21年の3年間 て、32年における世界の 食料需給について予測を 済の大減速等を踏まえ ライナ侵攻についての構 の平均値となっている。 れていない。 発したロシアによるウク 造的な影響等は織り込ま なお、22年2月にぼっ

生産する消費者として要請 ブと農水省が意見交換会

飼料課、牛乳·乳製品課

の各担当官12名が出席。

長関村静雄

氏ほか、企画

リカなどへの輸出推進。 保管施設の建設や、アフ 粉乳などの余剰乳製品の 用見直しとともに、脱脂 ②カレントアクセスの運

課、総務課、

畜産振興課、

③30年までに国産粗飼料

生活クラブ岡田専務の挨拶 を培ってきた生活ク とではない。 の酪農危機は他人ご ラブとしては、現在 同組合代表理事組合 法人新生酪農クラブ 代表として農事組合 優氏、南信酪農業協 代表理事組合長大塚 出席者は、生産者

行った。生活クラブの提

産対策だけではなく消費 政策も必要で、また、生

者に対していかに状況を

案」につい

て意見交換を

償制度(生産費と販売費 案は①農家の戸別所得補

理解してもらうかという

んや、単価固

観点での政策もお願いし

を進めるための酪農家へ 提出した「食料安全保障

岡田専務は「酪農が末永

最後に、生活クラブ・

く続くよう、中長期的な

の支援に向けた政策提

生産者とともに独自製品 ち、50年以上にわたって の意見交換会」を行った。 などの影響により危機的 の暴落、牛乳の需要減少 材価格の高騰や子牛価格 ラブ連合会等と農水省と 農水省において「生活ク 乳製品の自社工場を持 提携する酪農家が、資

た。

その後、

生活クラブが

えを行った。

対策につい 当官から畜

て説明があっ 産・酪農緊急

省の各担当官は、見解を

この提案に対して農水

示しながら丁寧に受け答

の挨拶の後、

農水省各担

する―の3点。

専務理事の

岡田一弘両氏

関村課長、

生活クラブ

テム戦略の推進に向け耕 進や、みどりの食料シス 100%に向けた生産推

畜連携への支援を具体化

類の写し(償却資産課税 することが確認できる書 申請書®22年度と23年度 の写し、リース契約書の に自家配用トウモロコシ 家配合飼料製造設備を有 きる納品書等の写し©自 を調達した数量が確認で 台帳の写し、委託契約書 上昇する。 少社会になるとはいえ、 準年の3・8 3から6% 消費量は40 肉・豚肉・鶏肉・羊肉) る一人当たら 食の高度化 世界全体 《肉類》 の32年におけ

中でも中国は、人口減 りの肉類(牛 《穀物》

昇に留まる見込み。 では、基準年でも117 は63・0 25で16%の増加 見込み。北米 %、消費量の 32年に世界の で、2%の上 込み。ブラジ により32年に 当たりの穀物消費量の伸 料仕向等を含む)の総消 るためである。 向けが増加し、また人口 南米では飼料向けが増加 くなる見通し。これは中 びが他の地域に比べて高 ら4%上昇する。 る一人当たりの穀物(飼 するためで、欧州も飼料 質量は、360・3

器で、 人当たりの数量が増え 減少傾向にあるので、 中南米及び欧州で一人 世界全体の32年におけ る牛乳類・植物性ミルク

今回、

消費者動向を購買

7日、一購買データから見

(一社)Jミルクは4月

り、酪農業界にとっても

注視すべき状況である。

間購入量は、21年度が34

牛乳類の一人当たり年

の消費動向」を公表した。

(3)

ドミルク・その他)は近

分析している。

オーツミルク・アーモン

植物性ミルク(豆乳・

何を、どれだけ、いくら

で買ったか)データから

整牛乳が1・74以増加し、

した。そのうち成分無調

履歴(どのような人が、

禍前)よりO・95%増加

・55以で3年前(コロナ

年生産量が増加してお

▼ 牛 乳

飲料などが減少。 低脂肪·無脂肪牛乳、

植物性ミルクの一人当

となっている。

3年前の2倍以上の増加

からの脱却 して72年か

ら地力増進を

部門を導入 った。また、

▼植物性ミルク

ミド

ル世代をターゲッ

トに

Jミルク

牛乳類・植物性ミルクの消費動向

開

情

報

「奇跡の増野原開拓】

原開拓 信州まし野ワイン株

植してきた。そのうち約 伊那郡松川町(旧山吹村) にあり、47年に32戸が入 増野原開拓は長野県下 ことができた。 ており、技術を習得する 前から果樹栽培が行われ この地域の周りでは戦

6割が満州からの引き揚 在でも30戸が増野の地で の開拓地である。20年現 9割以上が定着した奇跡 農者がほとんどおらず、 この増野原開拓は、離

げ者だった。

を行いながら徐々に果樹 を進めたことで、借金を った要因として、機械道 たことが挙げられる。 ための出稼ぎに出なかっ 八を行わず、人力で開墾 ジャガイモなどの畑作 なかったため、返済の また、離農者が出なか 増えていった。 なリンゴができ、品質は 生育に適しており、味・ 色つや・硬さなど高品質 標高が700~800

【信州まし野ワイナリー】 昭和の終わりころから

その後に「国光」、「ふ 紀梨」を主に作っていた。 を育てていき、「二十世 じ」などのリンゴ栽培が ョップも隣接している に搬入できる。ワインシ ばにあり、収穫してすぐ れているが、果樹畑のそ 場所は幹線道路から離

各種フルーツジュース で、自社工場でおいしく 作られている(写真下)。 (写真上)。 メインの商品はやはり

添蒙開拓と浜松

機から、満州

入隊する動

での暮らし、

機栽培にこだわり、環境 料にしている。手間はか 剪定した枝を炭にして肥 ず、ジュースの搾り粕と、 にやさしい農産物を作っ かるが消費者に安心・安 ている。化学肥料は使わ けしたい」と述べた。 全で美味しい果物をお届 社長に話を聞くと、「有 代表取締役の宮沢喜好 近頃は宅配便などの普

秋映

王林

信州まし野ワイナリ-地元果実100%のジュ

本で一番忙しくなるとの 可能になり、年末になる とこの地域の小口便が日

示唆される。 が効果的である可能性が ・21以、女性4・80以) に購入量は増加(男性4 は男女とも18年度以降特 は減少傾向にある。40代 層をターゲットにするの している。ミドル世代の 6代が一番多いが、男性 世代別では、男女とも

ってワイナリーを作っ のジュース加工場が作ら れ、91年に株式会社とな 夕陽の大地にかけた青春 新刊寄贈されました 「満蒙開拓と浜松」

有志たちにより農事組合

満蒙開拓青少年義勇軍に 身の長谷川鐡雄さんは、 (現、浜松市浜北区) 出 かる義勇兵の証言~ 静岡県浜名郡龍池村

を過ぎてから整理した。 まとめていた手記を90歳 これまで体験したことを 年日本に戻ってきたが、 入ったが、その年の夏、二 た後、45年春に開拓団に 一歳で終戦を迎えた。翌

谷の歴史 さんの手記を 拓への入植ま れている。 が鮮明に綴ら から三ヶ日開 日本に帰って で当時の様子 この長谷川

く、市場に出回らず「ま ぼろしのふじ」ともいわ こと。リンゴの評判も良

岐にわたる。 スモモ、キウイなど、多 ブドウ、栗、サクランボ リンゴ、ナシの他に、

がある。

地質は火山灰土で、

指定重要文化財「通潤橋 高地にある。西側には国

標高690~800㍍の は、阿蘇山の南に位置し、

(現山都町)の朝日開拓 熊本県上益城郡清和村

桃

0

ている。 ら、奇跡の果物が産まれ 今日も奇跡の開拓地か

熊本県山都町・朝日(大矢)開拓

力が低く、スズ竹の繁茂 状形高原地帯である。地

れからも続

だった。

った。

す、県内屈指の不振地区 により開墾作業が進ま

県開拓基地農場 (開拓者

47 (昭和22) 年、熊本

ている。アーモンドミル 4・92%で約9%を占め 購入量の内訳は、豆乳が 色ない動きをしている。 約15%だが、増加量は孫 り0・87以増加している。 度が5・36以で3年前よ クは0・31以と少ないが、 購入量自体では牛乳類の たり年間購入量は、

> り3年間訓練所で修業し 入隊し、42年に満州に渡 心とした「白昭の歴史を 語る会」が発行した。

位置する。

いる。著者は元洛北開拓 で分かりやすくまとめて 歴史を、おもに年表形式 農協組合長の前原英彦さ 協同組合が設立し、08年 同年10月に洛北開拓農業 に解散するまでの6年の 48年に入植が始まり、

基に、柴田宏祐さんを中

年の歩み

京都市北区にある原谷 (前号4面掲

開拓は、金閣寺の北西に

「原谷の歴史」

洛北開拓農業協同組合60

組織再編へ 松山開拓農協

組織の

6 ⊟

㈱全日本農協畜産

8日 全日本開拓者連盟

公社株主総会

畜産・酪農政策並び

に予算要請事項取り

山開拓」となり、再出発 4月3日に「株式会社松 昨年12月4日の臨時総会 で解散決議が採択され、 治代表理事組合長)は、 松山開拓農協(成川正

> る、開拓組織 にかけて予

織の主な行事 定されてい から6月前半

まとめ会議

5月後半

は次のとおり。

9日 全日本開拓者連盟

5 月

全開連人事

23 日

連九州ブロッ

第11回定時総会(同)

全日本開拓者連盟

共進会

(鹿児島)

19日

薩州開拓農協枝肉

ルカディア市ヶ谷) 第78回通常総会(ア

全国開拓振興協会

部(管理部電算室兼東日 推進部)常盤芳紀▽管理 本支所青森事業所(事業 事業所)糟谷春平▽東日 電算室(東日本支所青森 ▽事業推進部兼管理部 (5月1日付)

27 日

(一社) 岩手県開

回通常

総会

に予算要請行動 畜産・

酪農政策並び

26 日

岩手花平農協第59

ク参事会議(熊本)

日

福岡!

県畜産事協第

常総会

拓振興協会第11回通

数名が入植している。 営のために数名が現地に の基幹養成と、開発のた た。同年、富山県から十 入り、翌年10名が入植し めの講習所)から入植設 本支所)石田友里子 と濁って使 汲んできたが 保も大変で、 雨露をしの 2回通常総会 えない。 いだ。水の確 小川の水を

目的に、「開拓牛」(乳

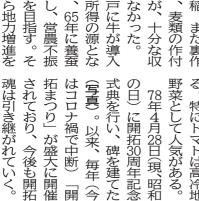
の竹の床に草壁の住居で い分、団結は強まってい り、定着率は悪かった。 たのは30名だったが、離 しかし、残った人が少な 農した人が13名にのぼ 当初は、掘っ立て小屋 9年3月までに入植し ツマイモなどを主食とし としてソバ なかった。 馬を導入し の開墾は困 協が設立されたが、当地 て菜種、陸稲、また裏作 て栽培し、 が硬くて思 陸稲、ジ 初年度より朝日開拓農 換金作物とし ヤガイモ、サ うように耕せ てみたが、土 難を極めた。 が、雨が降る むことになる。 合」となった。 城郡の6単協が合併して 区」に改名。農協は上益 用種去勢肥育)に取り組 「上益城開拓農業協同組 72年に地区名を「大矢 現在では9戸、肥育牛

なかった。 尸に牛が導入 が、十分な収 麦類の作付 式典を行い、碑を建てた の日) に開拓30周年記念 野菜として人気がある。 る。特にトマトは高冷地 ピーマン)を栽培してい 協組合員)と、野菜では おもに夏秋野菜(トマト、 経営(3戸が肥後開拓農 78年4月28日(現、昭和

けを行ったが

穫は得られた

50年に各三





シンポジウムで発表する鐵雄さんと、お孫さんの友里さん(右下)

情

る。冊子から、戦後開拓

での経験と、鐵雄さんを

などから逃れる生活に。

命からがら旧ソ連兵

たものの、小笹の茂り放

題だった痩せ地を耕すの

・8人から回答を

わせて年々耕作地を拡げ

第781号 (4)

浜

長谷川でん手記まとめる

コ

拓の経験が語られてい の戦前・戦後の2つの開 長谷川鐵雄さん(95歳) 満蒙開拓と浜松」では、 本会が寄贈を受けた 少年義勇軍の話を学校の 先生から聞き、志願。 内での訓練を経て旧満州 に渡り、開拓に従事した。 召集直後に敗戦を迎

料を十分に満たした。し

時には13人いた家族の食

イはよく採れ、一番多い

かし、兄弟2人で力を合

浜北区竜南)に、兄2人 池村下高薗(現・浜松市 ウムの内容を中心に紹介 囲んで行われたシンポジ ◇鐵雄さんは浜名郡龍 小笹に覆われた荒地で、 帰国の日を迎えた。 令で旧満州の新京で現地 合わせて、戦後開拓に従 てくれた一町二反の三方 族のように過ごしながら の家庭に居候。本当の家 所属していた隊の隊長命

家庭の財政事情で進学を 生。勉強が好きだったが 沢山のきょうだいがいる 諦めようとしていたとこ 大家族の三男として誕 できる」と、満蒙開拓青 姉・弟・妹2人など、 「働きながら勉強が

拓

開

事した。入植した土地は 原台地に入植。弟と力を た。ダイコン、サツマイ 酸性の土壌に手を焼い 帰国後、長兄が用意し バレイショ、 ハクサ 肥を混ぜてまかなった。 り、堤防の草を刈って下 松から集めて馬で運んだ

写真提供:浜松北地域まちづくり協議会 談会が行われた(写真)。 れ、鐡雄さんの発表や座 浜松を語り合う」が浜北 ンポジウム「満蒙開拓と 浜名高校で教諭として ◇22年11月3日にはシ

カボチャ ピーマン 21.0 19.5

17.1 21.5

15.8 25.1

生徒などと語り合った。 勤める鐵雄さんのお孫さ:%、淡色野菜で 踏まえて未来の世代に伝 渡った時の気持ちや戦後 えたいことなどを同校の んの友里さんのアシスト

ではジャガイモ

・3%、イモ類 はキャベツが77

45.2

46.7

44.0

46.6

39.5

52.4

2→22年▲31・8)、果樹 種では、畑作(前年〇・

○業種別にみると、

(11・9→▲7・7) な

然マイナス値ではあるも どで悪化した。一方、依

3 %

31.5

34.9 28.8

トマトが65・4

ミッコリーが20

にみると、ブロ

100%

80%

60%

40%

20%

0%

全体男性女性

ロナ禍 ブロ 野菜・果物とも価格の要望多く ツ コ リー 摂取増ト y

・年度『アフターコロナ』 消費動向調査結果(消費 を見据えた野菜・果物の 農水省は4月14日、「22 それぞれ女性が高かっ 0 冷、タマネギが15・1 ば、ダイコンが16・7 ば

の20歳以上の男女209 者)」を公表した。全国 る量が増えた人(343 コロナ禍に野菜を食べ

を調べた。 ◆ 野菜 「野菜を食べ ◆-男性(152人)

みや下肥(ふん尿)を浜

に望む要望など 種類、産地など

合わないため、毎日生ご

高価な肥料では採算が

物のよく食べる

━━ 女性(191人)

サトイモ 14.0

得た。野菜と果

依頼を受けて龍池村役場 の仕事も兼業し、得意な 養源を得るなどした。 釣りで鮎を釣り家族の栄 拓営農を行いつつ日雇い 帰国してから丸2年は開 で働き始めた。三方原の 48年からは鐵雄さんは る頻度」は、「ほ 野菜の種類」は、 が90・7%を占 9%と最も多 男性が77・1%、 緑黄色野菜では 日」が最も高い。 以上が「ほぼ毎 代別にみると、 めている。性年 い。 週1日以上 ぼ毎日」が64・ で、ともに70歳 女性が84・1% 「よく食べる

コロナ禍で摂取が増えた野菜の種類

タマネギ 30.6

27.6

33.0

39.1

38.8 39.3

ダイコン 25.1 25.7

24.6

のとおり。摂取の増加は ブロッコリーが46・6% 人)の増えた野菜は、 トが45・2%、キャベツ で最も多く、次いでトマ

13.8 14.1 一部抜粋 15.8 17.3 野菜の産地や小売業者

関することが約10%など 「小分け・ばら売り」に

少量パックや一本、一個 られる国産野菜を、少人 売りを増やしてほしい 数でも食べやすいように などの要望があった。

が39・1%だった。

%で最も多い。性年代別 は「ほぼ毎日」が27・0 「ほぼ毎日」が最も高い。 では、70歳以上の男性45 ・3%、女性46・5%で 果物の購入・摂取頻度

> 関することが約15%、「加 約45%、「規格外品」

た。また、

21年度から始

年度から432人増え

2101人(359人增)

員数は64 を公表した。 隊の隊員数 年度の「地

47人で、前

22年度の隊

増)、20代が2835人

(445人増)、40代が

が3795人 (585人

年代別でみると、30代

ライ)」に関することが約 工品(カット、冷凍、ド

まったインターンシップ

隊員で全体の8・7%を

の順で多い。20~30代の

制度の隊員が

占めている。

6813人

%、リンゴが48・0%、 た果物はミカンが51・7 コロナ禍で摂取が増え おいて市場に出してもら いたい」などの要望があ 影響を及ぼさない限りに

で高い。「安心して食べ 8・3浮それぞれ男性が ナシが10・1 浮、モモが 高い。男女別にみると、 高かった。 バナナが3・8%の順で 果物の産地や小売業者

地域

おこし協力隊32人増

任期後も同

一町村定住約7割

などへの要望・意見は、

等について」 域おこし協力 4月4日、22

総務省は

2倍となった

「価格」に関することが

52・5%だった。 ミカンが67・3%、リン ゴが62・5%、バナナが 「よく食べる果物」は、

も、規格外の物も品質に

体で31団体増 れ自治体数は で、699人 数も含めると

%) で、1037人増。

定住後の進路は、起業が

員は6318人(65・4

同じ地域に定住した隊

加した。

無駄なく生かすために 者に対する感謝と食品を 10%の順で高い。「生産

増。受け入

農業景況DI、 産コスト 過去最低値 0 増 大重く

ハクサイ 21.9 19.7 23.6

キュウリ 21.0 23.7 18.8

ネギ 20.1

15.8

23.6

16.6

レタス 22.2 25.7 19.4

3月14日、 ㈱日本政策金融公庫は 一農業景況調 公表した。 7424先か 査(23年1月)」の結果を

56人で、

前回調査から

人増)の順で多くなって

1574人増え、約1・

いる。

農業景況天気図 (21年実績、22年実績、23年通年見通し)									
21年 実績	22年 実績	23年 通年見通し		21年 実績	22年 実績	23年 通年見通し			
♠29.6		♣ 31.8	畑作	0.2	♣ 31.8	4 56. 7			
	♣ 87.7	▲ 67.4	露地野菜	∴ △ 21.4		♣ 26.2			
	▲ 84.8	→ 436.8	施設野菜		<u> </u>	↓			
△ ▲3.1	♣ 62.0	♣ 37.7	茶			→			
	△ 74. 2	↓ • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	果樹	11.9	△ , △ 7.7	5.1			
	21年 実績 ▲29.6 ▲32.8 ▲39.5 ▲3.1	21年 実績 ★29.6 ★39.1 ★32.8 ★87.7 ★39.5 ★84.8 ★3.1 ★62.0	21年 実績 実績 選年見通し ▲29.6 ▲39.1 ▲31.8 ▲32.8 ▲87.7 ▲67.4 ←32.8 ▲87.7 ▲67.4 ←33.5 ▲84.8 ▲36.8 ▲31.1 ▲62.0 ▲37.7	21年 実績 実績 選年見通し ▲29.6 ▲39.1 ▲31.8 畑作 ▲32.8 ▲87.7 ▲67.4 露地野菜 ▲32.8 ▲87.7 ▲67.4 施設野菜 ▲39.5 ▲84.8 ▲36.8 施設野菜 ▲31.1 ▲62.0 ▲37.7 果樹	21年 実績 実績 選年見通し 21年 実績 選年見通し 21年 実績 29.6 ▲39.1 ▲31.8 畑作 0.2 ▲32.8 ▲87.7 ▲67.4 ▲32.8 ▲87.7 ▲67.4 ▲32.8 ▲84.8 ▲36.8 ▲33.5 ▲84.8 ▲36.8 ▲32.3 ▲33.1 ▲62.0 ▲37.7 ▼ ★ ●0.9 ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	21年 実績 実績 選年見通し			

25.9

23.7 27.7

㈱日本政策金融公庫の資料から抜料

値が予想されている。 然として大幅なマイナス 22年実績からは回復が見 通年の全体の見通しは、 込まれているものの、依 ら回答を得たもの。23年

期 (概ね1年

年以上3年以 31日までに任

22年3月

農業が488人(84人

就農・就林等の内訳は、

浮減)、40

(0・5次)

滅)の順で多 代が19・7%

順で多い。

593人 (11・6%) の 4%)、就農・就林等が 就業が1970人(38・ 2174人(42・4%)、

30代が34・1%(0・9

· 3% (0

は、20代が34

年代別では

下)を終えり

た隊員は96

増)、畜産業が22人(1 増)、林業が56人(9人

96年の調査開始以来最低 かに大きなダメージであ コストの負担の増大がい 始以来最低となり、生産 浮と大幅に下落し調査開 となった。生産コストD 低下し、▲39・1だった。 は前年実績から9・5浮 1も前年実績から20・2 ○22年の農業景況DI

のの、露地 87 や北海道酪農 **3** · 1 → 3%と最も高い。 「効率化」が最も高い。

• 2%、露 業種でみると、畑作は54 など、全畜種で下落した。 62 0 は、肉用牛 菜(▲32·3→▲28·8) 5%で最も高い。個別の 化への設備増強」が47・ で前年から回復。畜産で 4→▲15・5)、施設野 は、耕種全体では「効率 32 • 8 ○「今後の 地野菜は49・ の経営方針」 も高く、養豚は「効率化」 3%、施設野菜は「人材 が53・2%で最も高くな 1%で「現状維持」が最 49・8%、肉用牛が40・ 50・2%、都府県酪農が でみると、北海道酪農が で最も高い。個別の業種 確保、育成の強化」が41 茶は「現状維持」が38・ の設備増強」が42・4% 畜産でも、「効率化へ

通路にオオムギ間作で害虫抑制 タマネギ・キャベツ栽培で

キャベツの試験の様子



写真提供:宮城県農業・園芸総合研究所

施設園芸では、害虫への様々な生物 的防除、物理的防除技術が開発され、導 入が進められている。一方、露地園芸 では化学合成農薬に代わる防除手段が 十分にあるとはいえない現状にある。

そこで、宮城県農業・園芸総合研究 所(名取市)は、ほ場の通路部分にオ オムギを植えることによる病害虫の抑 制効果を検証した。

〈キャベツ害虫の抑制効果〉

○方法○

試験は同所内のほ場(海抜46m)で2012年から行われた。品種は「初恋」と「彩音」を供試した。春作は4月下旬~5月上旬に定植して7月下旬~8月上旬に収穫。秋作は8月下旬~9月中旬に定植、11月下旬~12月上旬に収穫した。「間作区」の間作として用いたオオムギは「てまいらず」「百万石」で、キャベツ定植後に通路部分に通路面積10 a 当たり5~10kgを播種した。「除草区」は、トレファノサイド粒剤

なお、初年(12年)の試験でオオム ギが害虫抑制効果を発揮するのは一定 の生育後からであることが明らかとな った。そこで、次年度以降の試験から

をオオムギの代わりに撒いた。

定植後の初期害虫対策として、クロラントラニリプロール・チアメトキサム水和剤200倍液を育苗期後半にセル形成育苗トレイ当たり0.5ℓかん注処理した苗を用いた。

☆結果☆

各害虫抑制効果は、オオムギの播種 量や生育状況やほ場条件、害虫の発生 量によって異なるものの、表のような 試験結果となった。

チョウ目害虫では、モンシロチョウには早いうちから産卵抑制効果が現れ、作期を通して高い密度抑制効果が認められた(図1)。ウワバ類に対しては、生育前半には密度抑制効果は低く、生育後半にはやや抑制できる傾向がみられた。一方、コナガに対しては抑制効果が認められなかった。アブラムシ類では、試験ほ場で頻繁に発生するモモアカアブラムシとダイコンアブラムシに対しては、作期を通じて低密度に抑制することができた。ネギアザミウマに対しても高い密度抑制効果が確認された。

〈春タマネギ害虫の抑制効果〉

○方法〇

品種は「ネオアース」を供試し、4 月上~中旬に定植して7月上~中旬に 収穫した。供試したオオムギ品種や播 種量はキャベツの試験と同様。

☆結果☆

間作区と除草区を比較すると、ネギ アザミウマの初発生期には両区の寄生 数に差は見られなかった。しかし、6 月以降の急増期には間作区で高い密度 抑制効果があった(図2)。間作によ るネギアザミウマ抑制効果は、初発生 期の化学合成農薬の散布によりさらに 高められた(図3)。また、間作によ りタマネギの重要病害である黒斑病の 発生も減少傾向にあった。ネギアザミ ウマの食害痕が減少したためと推察さ れている。

同所は、オオムギの間作によって害虫が減少する理由として、畑やその周辺に存在している天敵(土着天敵)の保護強化につながっている点などを挙げている。土着天敵のゴミムシ類とヒラタアブ類はネギアザミウマの抑制に貢献していると考えられる。特にゴミムシの数は、オオムギ間作によって10倍程度増えることが確認されている。

間作したオオムギは、7月初め頃に 倒伏して座死するため、収穫作業への 影響は限定的となっている。また、黒 色生分解性マルチとの併用で効果が上 がるため、栽培終了後にオオムギ残渣 とともにほ場にすき込んでしまう栽培 法を推奨している。

2023年(令和5年)5月15日

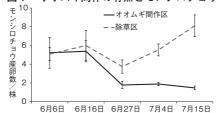
なお、間作技術の留意点として、オオムギ間作は全ての害虫に効果があるものではなく、効果があっても発生をゼロにすることはできないことを挙げている。

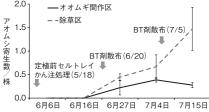
同所では現在「戦略的国際共同研究 推進委託事業(JPJ008837)」に取り 組んでおり、オオムギ間作に開花植物 を組み合わせた新たな土着天敵利用技 術の開発に取り組んでいる。

表 オオムギ間作のキャベツ害虫に 対する抑制効果の目安

7.7.7 G [F [1] 77 77 77 77 77 77 77 77 77 77 77 77 77							
害虫	オオムギ間作の効果と特徴						
モンシロチョウ	産卵および幼虫寄生数を 半分程度に抑制						
ウワバ類	作期前半はほぼ効果なし、 作期後半に抑制傾向						
コナガ	効果なし						
アブラムシ類	作期を通して低密度に抑制						
ネギアザミウマ	作期を通して密度を 半分程度に抑制						

図 1 オオムギ間作の有無とモンシロチョウ産卵数(左)と幼虫寄生数(右)の推移(2016年)



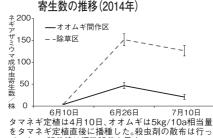


キャベツ定植は5月19日、オオムギは10kg/10a相当量を5月23日に播種した。殺虫剤処理はオオムギ間作区、除草区ともに実施した。誤差線は標準誤差を示す。

図3

75

図2 オオムギ間作の有無とネギアザミウマ 安生数の堆移(2014年)



ていない。誤差線は標準誤差を示す。

乳剤を両試験区に散布した。誤差線は標準誤差を示す。

オオムギ間作の有無とネギアザミウマ

寄生数の推移(2016年)

- オオムギ間作区

--除草区

図・表ともに宮城県農業・園芸総合研究所の資料から

農水省 日本茶キャンペーンスタート 新たなお茶の楽しみ方など発信



農水省は4月より、日本茶の「出かけよう、味わおう!キャンペーン」をスタートしている。今年の新茶シーズンの本格化に合わせ、観光需要が回復する機会を捉え、茶業界一体となって日本茶の情報発信などを行う。

お茶の消費量・産出額は、長期的に減少傾向にある。一方で、22年の輸出額は219億円で過去最高を更新するなど、海外から注目されている。これから新茶シーズンを迎える中、コロナ禍の規制が緩和されることから、人の動きが活発になることが期待される。

茶産地での茶摘み体験や、茶専門店

などでのお茶の淹れ方体験、新茶の試 飲会など、日本茶の楽しみ方を伝える イベントや体験などについて、茶産地 や事業者と連携して情報発信を行う。 多くの消費者に日本茶の良さを体験し てもらい、身近な生活の中でお茶を楽 しむ時間を増やすことで、より一層の 消費拡大を推進するのが狙いだ。

キャンペーンでは、①事業者などから「新茶など日本茶の魅力を味わえるイベントや体験等の内容」「日本茶への応援メッセージや動画」を募集②集まった体験内容などを、同省の特設ウェブサイトやSNSで情報発信③茶産地や事業者から提案された「新たなお茶の楽しみ方」について、同省職員が実体験し、公式YouTubeチャンネルやSNSで発信する。

どのような「新たなお茶の楽しみ方」 が発信されるか、今から楽しみだ。

土壌の CO₂吸収 見える化サイト

農研機構 手順書を公表

農地の土壌は、炭素を貯留して二酸化炭素(以下、CO2)の吸収源になる。一方で、メタンや一酸化二窒素を含めた温室効果ガス(以下、ガス)の排出源にもなる。

CO₂の吸収などでガスの排出を相 殺する「ガス排出実質ゼロ」を実現 するには、ガスの排出を減らし土壌 炭素貯留を促進する農地管理の方法 の普及が必要となる。

そこで、農研機構は任意の農地の 土壌炭素貯留やガス排出量を簡単に ネット上で計算できるシステムを開 発し、13年から「土壌の CO2吸収『見 える化』サイト」として無料公開し ている。そして3月、リニューアル した同サイトの機能と利用方法を解 説した標準作業手順書を公表した。

インターネットからサイト(htt

ps://soilco 2.rad.naro.g o.jp/) にアク セスし、農地 の場所や管理 情報を入力す ることで、土 壌 の CO₂ 吸 収量が計算で

きる。また、



農研機構の資料から

CO₂吸収量と同時に、土壌からのメタン、一酸化二窒素、化石燃料消費由来の CO₂発生量を計算し、栽培管理による温室効果ガス発生量の違いを総合的に評価できる。さらに、窒素による環境負荷を低減するために、栽培管理の種類に応じて、畑土壌からの窒素溶脱(作物に吸収されず環境中に失われること)や土壌の全窒素含量の計算例も確認することができる。

同サイトと手順書を活用すること で、環境に配慮した農地管理がより普 及することが期待される。

の生産費調査を行った。

ように設定した。

④泌乳中・後期試験では、乳牛3頭

を3区に分けそれぞれに2週間ずつ、 酢竹を5%、10%混ぜたTMR及び対

照区のTMRを給与し乳生産等を比べ

た。粗たんぱく質、可消化養分総量及

び繊維(NDF)は全区でそれぞれ15%

程度、80%程度、及び38%程度になる

竹+酢粕で飼料置き換え

TMR10%配合でコスト削減

飼料価格の高騰は経営上大変大きな 問題であり、少しでも代替できる技術 の開発が望まれている。

愛知県農業総合試験場では、放置竹 林の竹の粉砕物に、お酢を醸造する際 に排出される酢粕を混ぜた「酢竹」を 考案。これを乳牛用TMRに10%程度 配合することでコストを削減できた。

先行試験で、①一度の破砕のみの竹 粉を給与しても牛の胃に傷等はみられ ないこと、②竹粉では腐敗するが、液 状酢粕を20%添加してpHを低下さ

好性が劣り単体給与には向かないが、 いた。

~試験方法~

①~③を踏まえて、④竹飼料の粗飼 料代替が泌乳中・後期牛に与える影響 ⑤竹飼料の長期にわたる粗飼料代替が 分娩後の搾乳牛に与える影響⑥竹飼料

せ、「酢竹」にすると長期保存が可能 なこと、③酢竹はスーダン乾草より嗜 TMRに混ぜての給与が可能で、糖蜜 を混ぜ乳酸発酵させたものならば分離 給与が可能なこと—の3点を確認して

⑤長期飼養試験では、乳牛4頭を供 試し、2区に分け2頭ずつ(初産1頭、 2産以上1頭)配置した。酢竹をTM R中8.6%になるように使用した「酢竹 TMR」と「慣行TMR」を分娩後6 ~115日目までの15週間給与し、乳生産 等を比較した。TMRは粗たんぱく質、 可消化養分総量及び繊維がそれぞれ、 14.8%、69%程度、及び38%程度になる

ように調製した。

⑥生産費調査では費用は、酢 粕、フレコンバッグ(内袋・外 袋)、粉砕機に必要な燃料、運 賃等を試算。製造工程を改善し た場合の試算も行った。

~結果~

④、⑤竹飼料を含むTMRを 給与することにより、対照区と 比べて乳量・4%脂肪補正乳量 •乳たんぱく質率が高くなった。 TMRとしての嗜好性に問題

慣行TMRと酢竹TMRの給与試験の結果 % 40 20 日10 ▲ 慣行TMR **●** 酢竹TMR

5

分娩後调数 写真・図ともに愛知県農業総合試験場の資料から

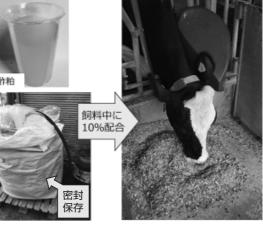
7 9 11 13 15

が無く、竹飼料は乾草に比べて体積が 少ないことから、慣行区よりも乾物摂 取量が増え、その結果エネルギー摂取 量が増えたためとみられる。竹の給与 は乳生産に悪影響を与えず、TMRの 原料として10%以内まで活用が可能と みられた。乳成分や血液性状などに悪 影響もなかった。

⑥竹の粉砕機排出口で直接酢粕を添 加し、フレコンバッグ1袋の容積の限 界まで酢竹を入れるなどの改良を加え れば、人件費などを含めて、製造単価 は1 t 当たり 4万1938円となった。

なお、酢竹の製造では搬出にかかる 経費が大きいため、近隣の竹林から竹 を持ち込んでもらえる体制を作ること ができれば、大幅に製造コストを下げ ることができる。飼料高騰が続く中、 安価に飼料の原料を確保する一助とし たい。

粉砕竹+酢粕



疾病など対策役立つ新繁殖技術 開拓豚友の会研修会から①

3月20日に、全開連主催の「開拓豚 友の会」が対面で3年ぶりに開かれた。 今号から3回に渡り、研修会で発表さ れた養豚に役立つ技術を紹介する。

豚は感染症に弱い。疾病を持ち込ま ないための種豚導入、繁殖の技術が求 められている。佐賀県畜産試験場の大 曲秀明氏が「豚の繁殖新技術について 一佐賀県での豚の胚移植に関する取組 一」と題して講演した。

~紹介された技術の概要~

胚移植は、種豚を生体で導入しない ため、コストを下げつつ病原体を持ち

(公財) 日本乳業技術協会は3月27

日、22年(1~12月)の「全国集乳路

線別生乳成分調査」の結果を公表した。

工場に搬入された生乳をローリー

(牛乳集配車) 単位で調査路線数とし

た。対象は7911路線。1日当たりの全

生乳生産量に対する調査対象乳量の割

合は、41.8%(前年比1.1 が増)。

乳業会社など8先から回答を得た。

込むリスクを下げ、生産性を向上させ ることが期待できる。

技術は図のような手順で行う。「ガ ラス化保存胚」とは、胚(受精卵)を 一気に-196℃まで冷やし超急速凍結し た胚のこと。冷蔵庫で作る氷のように 徐々に冷やすと氷晶によりザラザラに なり、胚の生産性が低下するが、一気 に凍結することで氷晶ができず、ガラ スのようにツルツルになるという意味 から、ガラス化法と呼ばれている。

胚は移植するために加温処理を行 う。また、豚は子宮が長く移植に不向

全国の乳脂率の通

年平均は3.992%

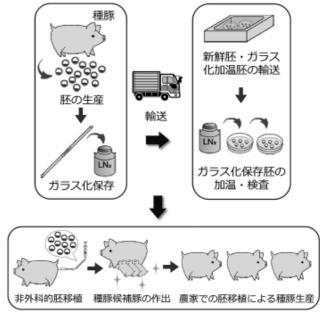
(0.054 郊増)。全国平

きだが、養豚場で実 用化するために、よ り簡単で低コストな 非外科移植(開腹手 術をせず、人工授精 のような手法で子宮 に移植する) の方法 で同試験が行われ た。先行試験(外科 移植で実施した)で 受胎率が試験供試豚 の半分程度だったこ とや産子数が2~3 頭しか確保できなか ったため、これらの 課題解決に向け改良 を加え、6頭に移植

を行った。 ~結果~

受胎率は83.3%と、33.3%上昇した。 平均産子数も6.3頭と、倍以上に増加。 誕生した豚の生存性などにも問題はな

胚移植技術を用いた種豚導入



佐賀県畜産試験場の資料から

く、コストも生体導入より37.9%抑え ることができた。

豚熱のように疾病の大きな流行が起 きた際やコスト削減のためにも、新し い技術の導入も検討したい。

乳脂率・無脂乳固形分、微増続く 22年集乳路線別生乳成分調查

均を上回ったのは、 北海道(4.012%)のみだった。

乳脂率は3.9%以上4.0%未満が21.5 %(2.3 紫減)、4.0%以上4.1%未満が 21.5%(0.8 が増)と同率、次いで3.8% 以上3.9%未満が17.5%(2.7弥減)、4.1 %以上4.2%未満が16.1%(5.4 が増)。

無脂乳固形分は全国通年平均で 8.830%(0.003が増)で、乳脂率とも微 増が続いた。

第二半乳処理場・ 乳製品工場1減

農水省が3月31日に公表した「牛乳 乳製品統計調査結果」によると、22年 12月31日現在の全国の牛乳処理場・乳 製品工場の工場数は545工場で、前年か ら1工場減少した。内訳をみると、牛 乳処理場は345工場で、前年から6工場

減った。乳製品工場は144工場で、1工 場増え、生乳を処理しない工場が56工 場で4工場増えている。

調査項目は、牛乳等の種類別生産量、 生産能力などの8項目。

生乳処理規模別では、2 t以上の生 乳処理場が2工場減り183工場、乳製品 工場は前年と同数で39工場となってい



農水省 みどりのチェックシート

いま一度畜舎の確認を

21年5月に農水省が策定した「みど りの食料システム戦略」を受け、昨年 10月、同省畜産局は持続可能な畜産物 生産に向けて取り組むべき内容につい てまとめた「みどりのチェックシート」 と、シートの解説書を作成した。

本シートのチェック項目は、省エネ や排せつ物管理、農作業安全など計14 項目から成る。各項目の注意点や解説 などの詳細は解説書及び参考資料集に 記載されている。

一部を除きほとんどが基礎的な取り 組みで、徹底すべき内容のため、自身 の畜舎についても本シートを活用し、 その実践・点検に役立てる。シート等 は同省HPで公開されている。

みどりのチェックシート(畜産)

		Г		
近年、食料の安定供給・農林水産業の持続的発展と地球 そのために生産者の皆様にまず取り組んでいただきたい		農場名	畜種	
いただき、その実践・点検に御活用ください。	40 - 4 - 4" - 4	チェック者 氏名	チェック年月日	
★実践している項目には、□にチェッ	れてくたさい。			
チェックの判断基準は、解説書を御確認くださ				
【持続的な畜産物生産に向けた取組への理解】			【農作業安全】	
① みどりのチェックシートの解説書を用いて自己学習し、チェックの判断基準となる取組内容及び取組に関する重要情報を理解している。	解説書 P1	ている。(定期)	画の適切な整備と管理を実施し メンテナンス、点検記録作成等)	解祝書 P6
			した適正な作業環境への改善(何)危険箇所の表示、保護具の着用	
【省エネ、環境法令に応じた対応】		プル映画所の表示、休護兵の有用 操作方法確認等) を行っている。	3、肝統雷 P/	
② 畜舎内の照明、温度管理等施設・機械等の使用 や導入に際して、不必要・非効率なエネルギー 消費をしない。	解説書 P1		】※飼料生産 (委託含む) を行	- -
③ プラスチック製の廃棄物の削減や適正な処理を		「辰榮、応科の取扱い	』 次則科主座 (安託召む) を1]	ノしいる場合
フラスチック製の廃棄物の削減や適正な処理を 行っている。	解説書 P2	農薬の適正な傾	押・保管 を行っている。	解説書 P9
④ (※特定事業場の場合)排水処理においては、 水質汚濁防止法を遵守している。	解説書 P2	① 農薬の使用状況	沿等の記録を保存 している。	解説書 P10
(※飼育頭数が一定規模以上の場合)家畜排せつ物の管理においては、家畜排せつ物法に基づく管理基準を遵守している。	解説書 P3		発生しにくい生産条件(作期の移 R、発生状況の把握等)を整備し	解説書 P10
【GAP、農場HACCP、アニマルウェルフェア】	13 肥料・堆肥の値	連用状況等の記録を保存 している	。解説書 P11	
⑥ GAP又は農場HACCPについて、認証は取得せずとも、可能な取組から実践している。	解説書 P4			
アニマルウェルフェアについて、「アニマル		【遺伝資源係	₹護】※和牛生産を行っている場	合
	解説書 P6		表及び家畜遺伝資源に係る不正規 「る法律を遵守している。	解説書 P12

農水省ホームページの資料から

全国モーモー母ちゃんの集い 島根県で4年ぶりに開催

「全国モーモー母ちゃんの集い」が、 3月に4年ぶりに島根県で開催され た。今回で11回目となる。

集いには関係者を含め約180名の参 加があり、体験発表やスピーチなどで 活発な意見交換が行われた。

「全国モーモー母ちゃんの集い」は、 子牛価格の低迷などで肉用牛繁殖農家 の経営状況が苦しかった2000年に兵庫 県で初めて開催された。全国の牛飼い

の女性が集まり、共通の課題について 情報共有や意見交換をすることで、畜 産業界を元気にすることを目的として いる。初回以降、約2年ごとに全国持 ち回りで開催されてきたが、19年の第 10回大会を最後にコロナ禍の影響を受 け、第11回大会の開催が延期となって いた。

次回大会は2年後で、鹿児島県での 開催が予定されている。



写真提供:公益社団法人島根県畜産振興協会

乳用・交雑種で発動続く 牛マルキン2月分

農畜産業振興機構は、肉用牛肥育経 営安定交付金(牛マルキン)の交付金 単価(23年2月分、確定値)を公表し た。乳用・交雑種で標準的販売価格が 標準的生産費を下回ったため、引き続 き交付が行われる。肉専用種は38都道

県で発動した。

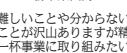
交付金単価(1頭当たり)は、乳用 種が4万5992.7円(前月は4万3470.9 円、確定値)、交雑種は4万6034.1円 (前月は1万2947.4円、同) となって

前月分と比べると、乳用・交雑種と もに販売価格が低下したため、両種と もに交付金は増額となった。

開拓組織の新しい印間 Part2



栃木県開拓農協 栃木県出身





岩手花平農協 岩手県出身

難しいことや分からない 早く仕事を覚えて農家さ ことが沢山ありますが精 んのお役に立てるよう頑 ·杯事業に取り組みたい 張ります。



開拓畜産事協

佐賀県出身 自分らしく頑張っていき ます。よろしくお願いい

たします。

豚熱ワクチン接種体制など変更

全国家畜衛生主任者会議



野中副大臣の冒頭挨拶

農水省は4月20日、「23年度全国家 畜衛生主任者会議」を開いた。新型コ ロナウイルスの影響でWeb開催が続 いていたが、4年ぶりに対面形式での 開催となった。

冒頭、野中厚農水副大臣(写真)が 挨拶し、各担当から説明があった。

■豚熱対策■

2018年9月の発生以来、18都県で計 86事例発生し、これまでに約35.7万頭 が殺処分に追い込まれた。20年9月に は豚熱の清浄国ステータスを消失して おり、ワクチン接種県においても発生 が確認されている。

これまで、豚熱ワクチンの接種は家 畜防疫員か知事認定獣医師に限定され てきたが、防疫員の業務圧迫などが問 題となった。そこで、昨年12月末に特 定家畜伝染病防疫指針が改正され、特 定の条件の下であれば飼養衛生管理者 によるワクチン接種が可能となった。

具体的には、飼養衛生管理者が各県 による研修を修了していることのほ か、農場自体も認定を受けることなど

牛マルキン3月分

牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)

の23年3月分の交付金単価(確定値)

を公表した。乳用・交雑種で標準的販

売価格が標準的生産費を下回ったた

め、引き続き交付が行われる。肉専用

農畜産業振興機構は5月12日、肉用

で接種が可能となる。

■水際対策■

22年のアジア地域では、モンゴル・ 中国・タイ・インドネシアで口蹄疫の 発生が報告された。アフリカ豚熱も近 隣諸国での発生が確認されている。ま た、新型コロナウイルス感染症の流行 に伴う入国制限が緩和され入国者数が 増加傾向にあり、水際対策が一層重要 となっている。

こうした情勢を踏まえ、農水省は発 生予防、まん延防止体制の確立のため、 以下の5点を呼び掛けた。

①畜産関係者の海外渡航の自粛、海 外からの畜産物の持ち込み防止、②衛 生管理区域及び畜舎内への病原体の持 ち込みの防止、③家畜の毎日の健康観 察、異状の早期発見及び早期通報、④ 緊急時の連絡体制の確保及び周知、⑤ 円滑な防疫措置に必要な事前準備、の 5点を挙げ注意を呼びかけている。

特に①の注意点は、技能実習生のみ ならず、その家族や友人にも周知を徹 底する必要があると訴えかけた。

種は45都道府県で発動した。 乳用・交雑種で発動継続

交付金単価(1頭当たり)は、乳用 種が5万6792.7円、交雑種は1万440円 となっている。

前月分と比べると、交雑種は販売価 格の上昇に加え素畜費が低下したため 交付金は減額となった。一方、乳用種 は素畜費や飼料費が上昇したため交付 金は増額となった。

外食养上高卫卫士前任民る

大規模宴会や夜間の集客はまだ鈍い

(一社) 日本フードサービス協会は 4月25日、協会会員社を対象とした外 食産業市場動向調査23年3月度の集計 結果を公表した。それによると、外食 産業全体では23年3月の売上高が前年 同月と比べて118.8%に上昇した (表)。また、19年3月(コロナ禍以 前)と比べても101.5%と戻ってきた。

新型コロナウイルス感染症への規制 緩和の動きが加速してきた。それに伴 い、歓送迎会や春休みのシーズンで個 人や家族客、中小宴会が増加した。

しかし、業態により状況は様々とな っている。大規模宴会や、夜遅い時間 帯の集客はまだまだ弱い。

【ファーストフード】

ファーストフード(テイクアウトの 業態を含む)の売上高は前年同月比 110.9%、利用客数も同104.2%と順調 に回復してきている。

開

売上高は、コロナ禍前と比べても 113.2%とコロナ禍前を上回っている。 しかし、コロナ禍前に戻った業態は これだけで、その他の業態は全てコロ ナ禍前までは回復していない。

【ファミリーレストラン】

全体売上げは前年比126.2%、利用客 数が同114.2%と増加している。

23年3月の業態別売上高・客単価等の前年同月比

	売上高	利用客数	客単価	19年3月との比 売上高
全 体	118.8%	108.0%	110.0%	101.5%
ファーストフード	110.9%	104. 2%	106.4%	113.2%
ファミリーレストラン	126. 2%	114.2%	110.5%	93. 3%
パブ/居酒屋	189. 4%	166. 2%	113.9%	64. 5%
ディナーレストラン	136. 2%	125.6%	108.4%	89. 1%
喫 茶	127. 5%	112.8%	113.0%	94. 4%
その他	121.5%	112.9%	107.6%	94.0%

特に「焼き肉」の売上げが伸びて、 同139.7%と大幅に増加した。ここでは 団体客も復活してきている。

コロナ禍前と比べると93.3%で、全 回復にはもう少しかかりそう。

【パブ・居酒屋】

酒類の提供制限がなくなり、個人客 やインバウンド需要の堅調が続き、歓 送迎会シーズンの中小宴会が回復傾向 で、売上げは前年比189.4%に跳ね上が った。

しかし、大規模宴会はまだ少なく、 二次会需要もほぼ見られず、店舗数自 体もコロナ禍前の70%弱にとどまって おり、売上げの19年比では64.5%とな っている。

結婚式の復活と 出荷頭数減で、 落ち込み少ない

4月は予想通りやや相場は上がって きた。ゴールデンウィーク明けは大き な変動はなく、落ち着いている様子。

例年ではこれから夏場になる前は動 きが鈍いが、今年は6月の結婚式シー ズンに向け、ここ数年コロナ禍で結婚 式を挙げられなかった分も含めて、ロ イン系を中心に引き合いが強くなって きている。5月の中旬までは活発な動 きが期待される。

輸入は前年より少なくなる見込み。

一方、5月の出荷頭数は全品種で前 年同月を上回るが、4月と比べると 10%ほど少なくなる見込み。

【乳去勢】4月の東京食肉市場の乳 牛去勢B2の税込み枝肉平均単価(速 報値)は、1107円(前年同月比98%)

となり、前月より178円上げた。

【F1去勢】4月の東京食肉市場の交 雑種去勢税込み枝肉平均単価は、B3 が1521円(95%)、B2が1356円(93%) だった。前月に比べ、B3は80円、B 2は70円いずれも上昇した。

【和去勢】4月の東京食肉市場の和 牛去勢の税込み枝肉平均単価はA4が 2341円(前年同月比95%)、A 3 が2121 円 (94%) だった。前月に比べ、A4 が86円、A3は144円上がった。

【輸入量】農畜産業振興機構は5月 の輸入量を総量で4万1500 t (前年同 月比91%) と予測。内訳は、冷蔵品1 万7000 t (83%)、冷凍品が2万4500 t (97%)。冷蔵品は、米国産が現地価 格の高騰により、前年を下回るとみら れる。冷凍品は、主要国である豪州産、 米国産が前年同月並みだが、その他の 国が大幅に下回るので、前年同月をや

や下回ると予測した。

相場が停滞する時期であるが、ジュ ーンブライド需要、輸入量の低下、出 荷頭数の減少などを踏まえ、インバウ ンド景気も好調なので、相場の落ち込 みは少ないとみたい。

向こう1ヵ月の東京市場の税込み枝 肉平均単価は、乳去勢B2が1000~ 1050円、F1去勢B4が1600~1700円、 同B3が1450~1550円、同B2が1250 ~1350円、和牛去勢A4が2300~2400 円、同A3が2000~2100円での相場展 開か。

豚枝肉

出荷頭数、輸入 量減で、高値が 持続する見込み

4月の東京食肉市場の豚枝肉税込み 平均単価は、上物が562円(前年同月比 115%)、中物は543円(123%)となっ た。前月に比べそれぞれ11円、14円下 がった。

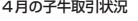
農水省の肉豚生産出荷予測による と、5月は132万6000頭(前年同月比 100%)と前年並みの見込み。前月と比 べ、4万6000頭減の見込 み。今後も例年通り出荷 頭数は減少傾向となる。

農畜産業振興機構の需 給予測によると、5月の 輸入量は総量で7万9000 t (前年同月比102%) の 見込み。内訳は、冷蔵品 3万2300 t (121%)、冷 凍品4万6700 t (92%)。 冷蔵品は前年同月がカナ ダ産の入船遅れなどで大 幅に少なかったのでやや 上回った。冷凍品は欧州

の現地相場の上昇や為替の影響に加 え、前年同月の輸入量が例年より多か ったことなどから、前年同月を大きく 下回る予測。前月と比べても総量で1 万4500 t 減少する見込み。

出荷頭数が減少し、輸入量も前年を 下回ることから、相場は強含みで推移 しそう。

向こう1ヵ月の東京食肉市場税込み 平均枝肉単価は、上物が600~650円、 中物は550~600円で推移か。



(頭、kg、円)

										281137	
ブロック	ロック	П. £	頭数		重 量		1頭当たり金額		円/kg		
	品種	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月		
		乳去	662	746	301	301	138, 633	150, 141	461	499	
北 海 道	海 道	Fı去	2, 056	1,814	339	331	356, 559	367, 331	1,052	1, 110	
		和去	2, 315	2, 258	328	331	753, 029	716, 027	2, 296	2, 163	
		乳去	0	1	_	275	-	52, 800	_	192	
東	北	Fı去	5	3	323	339	228, 140	208, 633	706	615	
		和去	4, 870	2, 386	326	319	669, 016	682, 090	2, 054	2, 138	
		乳去	44	67	297	256	280, 675	232, 527	946	909	
関	東	Fı去	172	153	354	347	362, 488	373, 626	1,025	1,077	
		和去	852	721	315	318	720, 595	695, 738	2, 289	2, 187	
		乳去	-	_	_	_	_	_	_	_	
北	陸	Fı去	-	-	_	_	_	_	_	_	
		和去	75	66	277	298	629, 405	681, 700	2, 272	2, 288	
		乳去	0	8	_	283	_	202, 675	_	716	
東	海	Fı去	48	57	315	319	326, 609	337, 816	1,036	1,059	
		和去	260	432	272	279	708, 734	741, 497	2,607	2,657	
		乳去	-	-	_	_	-	_	_	-	
近	畿	Fı去	-	-	_	_	-	_	-	_	
		和去	408	412	263	260	754, 438	739, 947	2, 864	2,841	
中	四国		乳去	90	105	280	290	139, 639	144, 425	499	498
		Fı去	252	246	329	323	364, 227	355, 362	1, 106	1, 100	
		和去	1, 055	902	308	300	671, 155	651, 429	2, 177	2, 171	
		乳去	0	8	_	297	_	140, 938	_	475	
九州	目・沖縄	Fı去	390	389	321	321	371, 470	371, 902	1, 158	1, 159	
		和去	7, 769	10, 339	299	296	676, 467	679, 890	2, 266	2, 296	
全 国		乳去	796	935	298	296	146, 598	155, 669	492	526	
	玉	Fı去	2, 528	2,662	339	330	357, 245	366, 444	1,054	1, 110	
	和去	15, 501	17, 516	307	304	685, 769	686, 973	2, 234	2, 260		

(独)農畜産業振興機構 (alic) の公表データを基に本紙集計、当月は暫定値。 価格は消費税込み、重量・金額・単価は加重平均。 – は上場がなかったことを示す。 関東ブロックは山梨県、長野県、静岡県を含む。



スモール価格は 市場のバラツキ で上昇続くか

【スモール】4月の全国24市場の1 頭当たり税込み平均価格(農畜産業振 興機構調べ、月末の取引結果を除く暫 定値)は、乳雄が5万7535円(前年同 月比57%)、F1(雄雌含む)は11万2105 円(63%)となった。前月に比べ、乳 雄は6523円の上げで、F1も9310円の上 げとなった。

市場により大きなバラツキがあり、 状況を把握するのが困難であるが、肥 育農家はコンスタントな導入が続いて おり、下がることは無く、もうしばら く上昇が続くとみられる。

【乳素牛】4月の乳素牛の全国1頭

当たり税込み平均価格(左表、月末の 取引結果を除く暫定値)は、乳去勢が 14万6598円(前年同月比65%)、F₁去 勢は35万7245円(96%)だった。前月に 比べ乳去勢は9071円下げ、F1去勢は 9199円下げた。今、素牛として出てく る牛はスモールの時に最安値だった牛 たちで、頭数は多くなる見込みで、F1 去勢、乳去勢とも弱含みの展開になり

【和子牛】4月の和子牛去勢の全国 1頭当たり税込み平均価格(同)は、 68万5769円(前年同月比87%)となっ た。前月に比べ、1204円下げた。

和子牛も、市場によるバラツキが大 きく不安定であり、上昇することなく もちあいの推移か。